

様々な現場で、改善・生産性向上を 進める上で気をつけてきたこと

～ 誰がために、その改善を行うのか ～

山本 久仁朗

- はじめに
- 各現場での「**学び**」「**改善**」
- 各「**改善**」での**ポイント**
- まとめ

はじめに

はじめに ～ 自己紹介 ～

名前 : 山本 久仁朗(旧姓:村上)

最終学歴 : 一関高専 化学工学科 (～'89)

職歴 :

日本プロセス株式会社 (Sier : SE、TE) (～'03)

アットネットホーム株式会社 (ISP : QA) (～'05)

ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ株式会社
(PC／組込 : TE、SQA) (～'11)

NHN Japan 株式会社 (ゲーム : QA) (～'13)

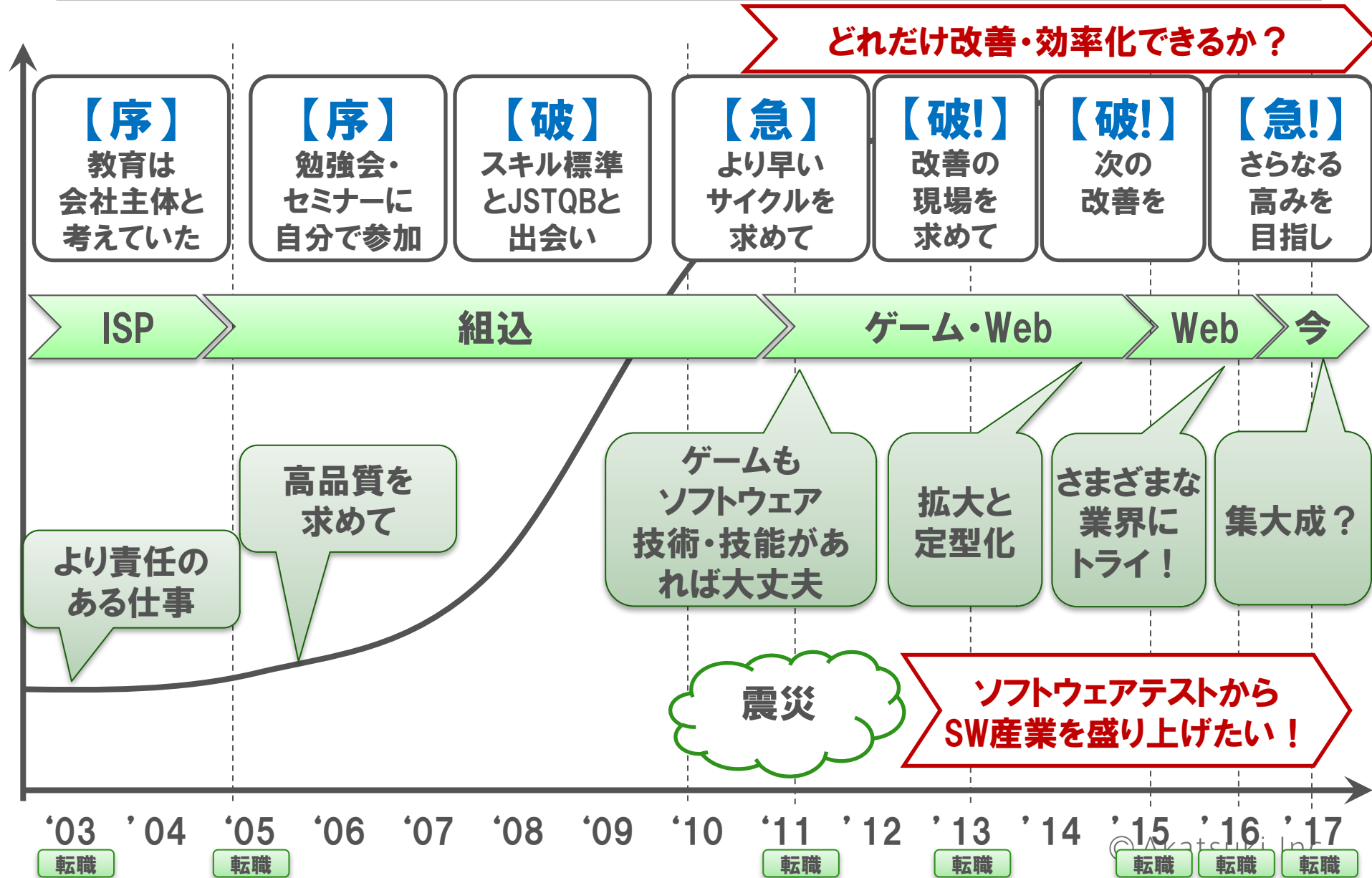
DeNA 株式会社 (ゲーム／Web : QA) (～'15)

株式会社 メルカリ (フリマアプリ : QA) (～'16)

株式会社 mediba (Web／アプリ : QA) (～'17)

株式会社 アカツキ (ゲーム／Web : QA) (現職)

はじめに ～ 自己紹介 ～



はじめに ～ 現場での課題 ～

みなさんの組織で「改善」は、うまく進んでいますか？
さまざまな課題があり、悩みが尽きないですが・・・
一般的な手法や世の中で流行っているからといっても
組織によってはマッチしないことも多々あると思います。

◆ 現場での課題

- ・ 市場への不具合流出を防ぎたい
- ・ テストの効率を上げたい
- ・ テスト設計力を上げたい
- ・ メンバーの力量を上げたい
- ・ テストプロセスを見直したい
- ・ 企画・開発・QAチームの連携を強めたい

はじめに ～ 現場での課題 ～

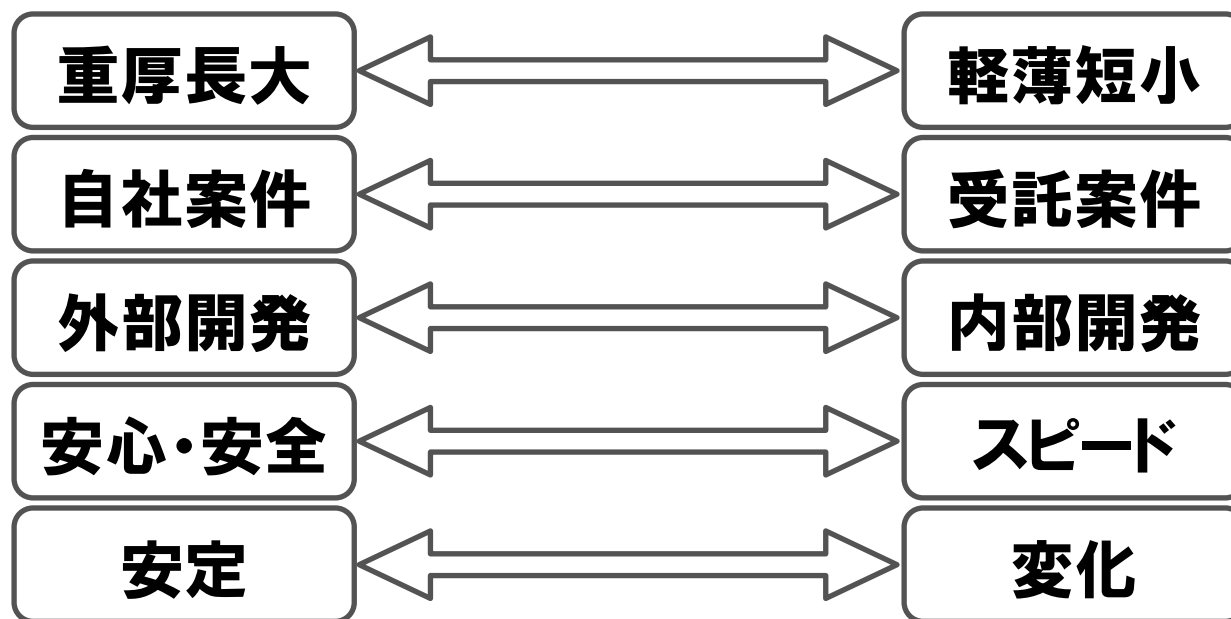
何度かの転職を通じて、さまざまな組織において、
数々のトライ・改善を実施してきました！

うまくいった話だけではありません・・・
数々の失敗談を踏まえて、さまざまな事例と
その中で培ったアプローチについてお話したいと思います。

◆ さまざまな組織において

- ・ 小さな現場での改善・トライアルを通じて仲間と喜び！
- ・ 新しい組織の立ち上げを通じて、さまざまな部署の人と出会！
- ・ 大きな組織の中で地道な活動や新しい施策を実施！

組織のカルチャー・特性によって、 観点がことなることを実感



成長を取り巻く様々な要因



各現場での 「学び」「改善(トライ)」



学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	客先(受注会社)	期間
サーバ検証	外資系大手コンピューターメーカー	1996年12月 ~ 1998年11月
作業内容		
○各検証業務 共通 について以下の作業を実施 ・検証項目の策定(開発部署で実施) ・検証手順の作成 ・検証の実施 ・開発部へデイリーレポートの提出 ・バグ発生時の対応 (エスカレーション & 再現確認 & 修正時の確認) (内容: 異常処理、設定のミス、不明点・疑問点) ・検証工数の見積もり、スケジュール作成 ○リカバリCDイメージの検証業務 について以下の作業を実施 ・XXXX (Server リカバリCD システム) 検証を実施 ○バックアップツールの検証 について以下の作業を実施 ・XXXX を用いて、DAT、DLT 等、各種バックアップ機材を用いた検証を実施 ○クライアント、サーバー 管理ツール 検証 について以下の作業を実施 ・XXXX の検証 (終盤、ローカライズを担当)		
		半年間の海外出張で本場のQAを知る
		不具合報告の基本を再認識
		サーバ構築の知見が高まる

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.



各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	客先(受注会社)	期間
パーソナルコンピュータ検証	大手電機メーカー	1998年11月 ~ 2003年04月
作業内容 ○リカバリCDイメージの検証業務 について以下の作業を実施 ・検証方針の策定(品質保証部、開発部署とともに実施) ・検証項目の策定(開発部署とともに実施) ・検証手順の作成(テスター向け手順を作成) ・テスターへの 検証指揮 ・テスターからのデイリーレポートをとりまとめて、開発部へレポート ・バグ発生時の対応 (エスカレーション & 再現確認 & 修正時の確認) (内容: 異常処理、設定のミス、ユーザー的 不明点・疑問点 等々) ・テスター検証工数の見積もり、スケジュール作成 (検証スタッフを、複数のチームでシェアしていますので、お互いのチームの状況に応じて、人員配備を考える) ・テスタースキルアップの為の講師(Office 関係を担当) ・テストツールの開発(EXCEL、VBA、VBスクリプト、WinBatch 等を使用)		
テスト計画・分析を導入 & 実践 テスト設計・実装・実施・管理を実施 不具合分析を学ぶ メンバー育成による生産性向上 ツール開発・導入でチーム生産性向上		

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
ISPサービス全般の品質向上	QA(品質保証)	2003年05月 ~ 2005年09月
作業内容		
○ISPとしての付加サービス、各種コンテンツの品質向上業務 について以下の作業を実施 ■ プロジェクトマネジメント - 企画・開発部署から、サービス内容、技術的、ユーザビリティ等の各種検討・相談 - 各部署との各種リソース調整(時間、機材(含むPC、サーバ)、人) - プロジェクト全体の工数・進捗管理 - 各種マイルストーンに基づいた、プロジェクト管理サポート - 検証項目、検証環境イメージ図等をもとに、各部署のイメージ合わせを実施(UML図 等を使用) - 検証結果をもとに、途中経過・出荷等の各種判定会を実施 ■ QA リード - QA部署 各種管理業務 - 検証工数の見積もり、スケジュール作成 - 検証方針・項目の策定(企画、開発、カスタマーサポート等各部署とともに実施) - 検証手順の作成(テスター向け手順を作成) - テスターへの 検証指揮、デイリーレポートをとりまとめて、開発部へレポート - 検証結果、障害管理シートをもとに、運用部署へ ナレッジトランスファーを実施 ■ 社内横断的プロジェクト - シックスシグマ関連プロジェクトに従事(コンサルティング会社と共に全体の統括を実施) - シックスシグマ関連プロジェクトのプロセス化推進プロジェクトのリーダー(ブラックベルト)を兼任 - プロセス化推進プロジェクトの成果物として、WBSチェックシートを作成(各プロジェクトにおいてシートの更新を実施) - 新規サービス・コンテンツにおいて キーポイントとなる、機能、設備、部署、人について、社内において 社内共同作業すべき部署の紹介(アプローチ方法も含め)		
		PMBOKベースの プロマネを学ぶ
		オフショア調査・検 討
		体系的なQAについて 学ぶ
		各種テストツールの 活用
		CS・運用チームとの 連携を深める
		プロセス改善につい て学ぶ

JaSST を知る
TEF ML に登録

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
PCアプリケーション検証	品質エンジニアリンググループ	2005年10月 ~ 2007年 03月

作業内容

OPCアプリケーション検証について以下の業務を実施

■ 検証プロジェクトマネジメント

- ・検証プロジェクトの見積もり、スケジュール作成(オフショアへの発注も含む)
- ・検証方針の策定(品質保証部、開発部署とともに実施)
- ・検証計画の策定(開発部署とともに実施)
- ・検証項目作成の指揮・取りまとめ(設計側との要求合意・仕様確認、)
- ・検証手順作成の指導・管理(テスター向け手順を作成)
- ・検証プロジェクト全体の工程進捗管理(準備、実施、バグ発見・修正、オフショアへの指示・調整)
- ・各マイルストーンでの判定資料を作成(品質保証部、開発部署とともに判定条件を調整)

テストマネージメント全般

オフショアの実践

■ 社内横断的プロジェクト

- ・検証チーム横串活動プロジェクトリーダーとして以下の業務をとりまとめた
 - ー 育成・教育ガイドラインの作成
 - ー 検証業務棚卸し・改善
 - ー 検証技術トレンド調査
- ・Windows Vista 関連の検証チームとりまとめとして以下の業務を実施
 - ー ソニー全体のVista情報共有委員会に参加(定例会・Web・MLでの情報共有)
 - ー OS特性・新機能等のチーム内への情報共有
 - ー Vista特有の横断的共通検証方針の策定(品質保証部、開発部署とともに実施)

組織的な改善活動の基礎を学ぶ

社外のセミナーに
月1回ペースで参加

JSTQB FL 取得

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
検証プロセス改善	品質エンジニアリンググループ	2007年04月 ~ 2008年 03月
作業内容		
○検証チーム全体のプロセス改善について以下の業務を実施 ・検証プロセスの棚卸し、可視化(PFD等を使用)、改善、テーラリングの策定 ・育成・教育ガイドラインの拡充(資格試験勉強会の講師を実施) ・テスト管理ツール導入推進(調査、分析、トライアル、導入)		
プロセス改善の実施 TPIをTRY		
社内勉強会講師		
テスト管理ツール 調査・検討・導入		
社外のセミナーに 月2回ペースで参加		
TestLink 日本語化 プロジェクトに参加		
WACATE に参加 (そして実行委員へ)		

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
デジタルオーディオプレイヤー検証	QEG(品質エンジニアリンググループ)	2008年04月 ~ 2010年 03月

作業内容

○デジタルオーディオプレイヤー検証について以下の業務を実施

■ 検証プロジェクトマネジメント

- ・プロジェクト方針変更・サブプロジェクト発生時に伴う見積り作成(オフショアへの発注も含む)
- ・検証計画の策定(品質保証部、開発部署とともに実施)
- ・検証プロジェクト全体の可視化推進(メトリクスの標準化、収集の自動化、可視化作業の簡略化)
- ・検証項目作成の指揮・取りまとめ(設計側との要求合意・仕様確認、)
- ・検証手順作成の指導・管理(テスター向け手順を作成)
- ・検証プロジェクト全体の工程進捗管理(準備、実施、バグ発見・修正、オフショアへの指示・調整)
- ・バグ確認会議の開催、方針調整(品質保証部、開発部署とともに実施)
- ・各マイルストーンでの判定資料を作成(品質保証部、開発部署とともに判定条件を調整)

テストマネージメント全般

ソフトウェアQAとしての知見を深める

ロボットでのテスト自動化を導入

■ 検証アドバイザー

- ・医療機器関連の開発プロジェクト全体の検証計画立案をサポート
- ・社内工数管理システムプロジェクト委託先(オフショア)の検証計画をレビュー、監査を実施
- ・検証自動化(ロボット)推進担当として導入・実施
 - ーグループ本体からの依頼で「検証自動化サミット」を開催(参加人数:250名、参加ベンダー:4社)
- ・Windows 7関連の検証チームとりまとめを実施

メトリクス再設計
(GQM・FiveCore)

■ 業務改善プロジェクト

- ・進捗管理・メトリクス担当として検証チーム共通のメトリクス計測方針を策定

WACATE 登壇

Test.SSF 策定に参加

JaSST 登壇
(コミュニティ)

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



各現場での「**学び**」「**改善(トライ)**」

業務	所属	期間
ソフトウェア品質保証	QEG(品質エンジニアリンググループ)	2010年04月 ～ 2011年10月

作業内容

○ソフトウェア品質保証について以下の業務を実施

- ・関連プロダクトの出荷判定基準の策定・再検討
- ・関連プロダクトのメトリクス計測計画の策定
- ・関連プロダクトのプロジェクトのプロセス・プロダクト品質指標から妥当性確認方法を策定

テストマネージャの 経験を基にSQA

プロジェクト横断で 品質指標を策定

ETSS • ESQR

派生開発協議会の 立ち上げに参画

テスト設計コンテスト ト（初代 負け犬）

JPD

@Net



SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ



© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
オンラインゲーム品質保証	QA室	2011年10月 ~ 2013年04月

作業内容

○オンラインゲーム品質保証・検証 について以下の業務を実施

■ QA室 室長(組織マネジメント)

- ・部門の中長期目標策定 & 目標達成を推進
- ・事業部・関連組織との各種調整を実施
- ・その他 マネージメント業務(含む、メンバー育成・評価)

部門目標 &
ロードマップ策定

■ QAプロジェクトマネジメント

- ・QA計画の策定
- ・QA作業省力化の提案(計画時に実施)
- ・QAプロジェクトの可視化推進(メトリクスの標準化、収集の自動化、可視化作業の簡略化)
- ・テスト項目作成の指揮・取りまとめ(企画・開発側との要求合意・仕様確認、)
- ・テスト手順作成の指導・管理(テスター向け手順を作成)
- ・テスト工程進捗管理(準備、実施、バグ発見・修正、オフショアへの指示・調整)
- ・各マイルストーンでの判定資料を作成

組織マネージャに
なっちゃいました

可視化・標準化の推
進

■ QAメンバー教育担当

- ・JSTQB教育 (QA室 合格率 83% : 5/6、取得率 90% : 9/10)
- ・各種QA・テスト技術・技法の教育
- ・メトリクス活用方法の教育

リスクベースドテス
トの推進

JSTQB & QC七つ道具
等の教育実施

■ 生産性向上 タスクフォース リーダー

- ・下記施策により生産性向上により関連組織人員を約20%削減(160名→130名)
ー テスト技術・技法の教育

生産性向上を軸に
改善活動を促進

WACATE 登壇

大分大学 登壇
(エンジニア キャリア)

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

©Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
オンラインサービス品質保証	QA部	2013年05月 ~ 2015年03月

作業内容

○オンラインゲーム品質保証・検証 について以下の業務を実施

■ QA部 検証チームマネージャ

- ・部門の中長期目標策定 & 目標達成を推進
- ・事業部・関連組織との各種調整を実施
- ・その他 マネージメント業務(含む、メンバー育成・評価)

部門目標 &
ロードマップ策定

■ QAプロジェクトマネージメント

- ・QA計画の策定 & サポート
- ・QA作業省力化の提案(計画時に実施)
- ・QAプロジェクトの可視化推進(メトリクスの標準化、収集の自動化、可視化作業の効率化)
- ・テスト項目作成の指揮・取りまとめ(企画・開発側との要求合意・仕様確認、)
- ・テスト手順作成の指導・管理(テスター向け手順を作成)
- ・テスト工程進捗管理(準備、実施、バグ発見・修正、オフショアへの指示・調整)
- ・各マイルストーンでの判定資料を作成

リポジトリの最適化

マスターテストプラン
の考え方を導入

■ QAメンバー教育担当

- ・JSTQB教育
- ・各種QA・QC・テスト技術・技法の教育
- ・メトリクス活用方法の教育

JSTQB & QC七つ道具
等の教育実施

■ その他

- ・QA計画・リスクベースドテストの導入により、重要不具合早期発見 & 見積もり精度の向上
(誤差30%以内のプロジェクト比率 : 48%(2013/05) → 85%(2014/10))

リスクベースドテスト
の推進 & 簡易導入

MS COD 登壇

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
フリマアプリ品質保証・検証	QAチーム	2015年04月 ~
作業内容		
○フリーマーケットアプリ品質保証・検証 について以下の業務を実施 ■ <u>QAチームリーダー</u> ・チームの中長期目標策定 & 目標達成を推進 ・企画・開発・CSなどの関連部署との各種調整を実施 ■ <u>QAリード</u> ・QA計画の策定 & サポート ・QA作業省力化の提案 ・QAプロジェクトの可視化推進(各種メトリクス、可視化作業の簡略化) ・テスト項目作成の指導・管理(社外協力会社向け手順を作成) ・テスト工程進捗管理(準備、実施、バグ発見・修正、協力会社への指示・調整) ■ <u>その他</u> ・テスト自動化の導入により、QA業務の省力化を実現 ・リリース前プロセスを見直し、外注費削減 と リードタイム短縮を実現 ・メンバー育成		
		部門目標 & ロードマップ策定
		CSとの連携を強化
		スクラムチームの体制構築
		DevOps の現場を体験
		最新のアジャイル開発を体験
JaSST登壇 (ゲームテスト)		
SaPID ブートキャンプ 参加		

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

業務	所属	期間
フリマアプリ品質保証・検証	QAチーム	2015年04月 ~

作業内容

OKDDIグループ web サービス品質管理・検証 について以下の業務を実施

■ テスト業務改善担当 として

- ・チームの中長期目標策定 & 目標達成を推進
- ・障害分析の可視化推進(四半期毎に、全社向けに情報発信)
- ・テスト標準ドキュメントの策定 & 活用の推進
- ・テスト標準プロセスの策定 & 活用の推進

部門目標 &
ロードマップ策定

■ テストリード として

- ・マスターテスト計画の導入・推進(中規模プロジェクトにおいて、不足なテスト計画を計画当初より導入)
- ・リスクベースドテストの導入・推進(リスクの高い問題を早期に発見し、リリーススケジュールを安定化)
- ・各テストマネージャの計画・設計(テストケース作成)をレビュー & サポートを実施
- ・テストチーム体制構築
- ・企画・開発などの関連部署との各種調整を実施

マスターテスト計画
リスクベースドテスト
の導入・推進

スクラムチームの
体制構築

■ 開発部門 Tech Lead として

- ・脆弱性診断ツール(vuls)の導入・運用方法の策定と推進
- ・開発者コミュニティ活動を推進(週2回の勉強会 & 社内SNSでの情報発信)
- ・開発部門としての、デファクトスタンダードを策定

JSTQB & QC七つ道具
等の教育実施

■ その他

- ・テスト自動化の導入により、品質管理業務の省力化を実現(年間契約テスト費用の無駄を削減)
- ・開発部門メンバーに、テスト・品質関連の勉強会を実施
- ・品質管理グループメンバー育成(JSTQB・QC7つ道具・テスト技法等)

脆弱性診断ツールの
導入・運用

WACATE 登壇

JaSST 登壇
(ゲームテスト)
(キャリア)

QUES 登壇

TPI NEXT 勉強会実施
(社内・社外)

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

© Akatsuki Inc.

学び

改善・適応

社外活動



Akatsuki

各現場での「学び」「改善(トライ)」

JPD

@Net

SDNA

NHNJ

DeNA

メルカリ

mediba

JaSSTを知る
TEF MLに登録

JST
社外
月1
加

TestLink
プロジェクト
社外のセ
月2回ベ

Test SSE 策定に
参
派生開発協議会の
立ち上げに
WACATEに登壇
(招待)

MS COD 登壇

JaSST Tokyo '16

JaSST Kyushu
'16

QUES

WACATE 登壇

TPI NEXT勉強会
実施

テスト計画・分析
を導入&実

CS・運用チーム
との連携を深め

テスト設計・実
装・実施・管理を
実施

メンバー育成によ
る生産性向上

ツール開発
でチーム生
上

各種テストツールの活用

PMBOKベースの
プロマネを学ぶ

半年間の海外出張
で本場のQAを知
る

不具合報告の基本
を再講 不具合分析を学ぶ

サーバ構築の知見
が高まる

オフショア調査・
検討

体系的なQAにつ
いて学ぶ

プロセス改善につ
いて学ぶ

テスト・マネ
ント全

プロセス改
施、T

オフショア

テスト管理
調査

ソフトウェアQA
として
社内勉強会

プロジェクト
で品質指標

ロボットでの
テスト自動化を
導入

メトリクス再設計
(GQM・
FiveCore)

組織的な改
の基礎を学ぶ

ETSS・ESQR

テスト設計
テスト(初代 負

テストマネー
ント

テストマネ
の経験を基

ソフトウェアQA
として

プロジェクト
で品質指標

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

ソフトウェアQA
として

生産性向上
改善活動を

可視化・標
推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リポジトリの最適
化

マスターテスト
ランの考え方を導
入

スクラムチームの
体制構築

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

CSとの連携を強
化

マスターテスト
ランの考え方を導
入

スクラムチームの
体制構築

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

リスクベ
ストの推進

マスターテスト
ランの導入

JSTQB & QC七つ
道具等の教育実施

部門目標 &
ロードマップ策定

DevOps の現場を
体験

最新のアジャイル
開発を体験

ちよつと
小休止
「好きな、名言」

「改めて益なきことは、
改めぬをよしとする
なり。」

「徒然草 第一百二十七段」から抜粋
吉田兼好

各「改善」でのポイント

KPI の見直し

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】一昔前の非効率な検証業務

- バグをたくさん出すことが評価され重複バグが・・・
- タスクの細分化せずに柔軟な対応が出来ない・・・
- テスト設計がなく、フリーテストでバグ検出・・・

【対策】KPI 見直し & タスク細分化で、生産性向上

- KPI をバグ数 → 重要度の高いバグ検出
- タスクの細分化 & 段階的なテスト実行により、柔軟な対応が可能
- テスト観点の可視化・共有により、考え方を共有し
テスト設計力の強化
 - 副次的にテスト観点ベースでの企画・開発側とのレビュー工数も削減

KPI の見直し

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】丸投げ的な検証業務

- ・ 案件単位で開始・終了が設定・・・
- ・ テストケース・対象環境を表の記載順で実施・・・
- ・ 座学的な話は、チーム全体に浸透しにくかった

【対策】リスクベースドテストの導入

- ・ タスクをある程度細分化 & 段階的なテスト実行により、柔軟な対応が可能
- ・ リスクベースドテストの導入
 - リスクの早期削減による手戻りの削減
- ・ メンバー向けに、標語ベースでの啓蒙活動を実施
 - 山本流 リスクベースドテスト 最初の一步は、この一言！

「どこからテストします？」

テスト受（発）注時

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】前例を元に安易な発注

- ・ いままで同じやり方...
- ・ 発注先でテストしている...
- ・ 同じテストの繰り返し...

【対策】テスト計画に考慮すべき点を受注時に適応

- ・ テスト計画書から発注書に**必要な項目を追加**
- ・ テスト計画書を**標準化 & メンバー育成**

テスト受（発）注時

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】前例を元に安易な発注

【対策】テスト計画に考慮すべき点を受注時に適応

- テスト計画書から発注書に**必要な項目を追加して**
 - テスト対象（サービス・機能・etc）
 - 新規サービスだけではなく、関連機能も対象とした
 - スコープ（環境（サーバ&クライアント））
 - スマホ機種数を選定し、機能テストを厚目を実施
 - アプローチ（優先順位・何巡・フェーズ・etc）
 - リスクベースドテストを採用
 - 全体で不具合修正も含めて、2巡分のテストを実施
 - 開始・中断・再開・終了基準
 - 中断時には、スケジュール・スコープ変更を検討
 - 終了基準・条件と合わせて、リリース条件も検討

テスト受（発）注時

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】前例を元に安易な発注

【対策】テスト計画に考慮すべき点を受注時に適応

- テスト計画書を標準化 & メンバー育成
 - テスト計画書を標準化
 - 各メンバー・パートナー・過去資産を棚卸し & 平準化
 - IEEE 829-2008 をベースに標準化
 - 実プロジェクトをベースにプロセスの見直し
 - フェーズに合わせて使いやすく、対象項目を変更 & ブラッシュアップ
 - JSTQB ベースでの勉強会を開催
 - テスト計画・テストマネジメントについて、座学を通じて用語を統一
 - ディスカッションを実施して、課題・リスクを共有

テスト業務改善

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】中規模ベンチャーでの、QA部署立上げ

- ・ 上司が翌月移動、QA部署の業務が未確定・・・
- ・ 予算だけが確保されていた・・・
- ・ このままでは、部署存続の危機・・・

【対策】QA部署の**存在感と実績を積み上げる**

- ・ 関連各部署に営業活動を実施し業務を受注
(Webサイト・社内ツール・メールサービス・etc)
- ・ 業務推進のために、各種仕様書も作成
(ネットワーク図・サーバ構成図・サービス概要・etc)
- ・ 社内の横串活動を率先して実施

組織力向上

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】テスト技術不足による人依存のテスト実施

- ・ 境界値・同値分割も知らずに、テストケース作成・・・
- ・ 計画・管理も人依存でスケジュール遅延も・・・
- ・ リスク管理していないので差込・突発が多発・・・

【対策】テスト関連勉強会・OJTにより、チーム力強化

- ・ JSTQB・QC検定等の勉強会実施で、**基礎テスト力の向上**
- ・ テスト観点ベースでのレビューで**考え方を強化**
- ・ テスト計画・管理のレビュー＆チェックにより、**リスク予測・管理能力向上**

組織立上げ時

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成

【事例】小規模ベンチャーでの、QA立上げサポート

- QAが軌道に乗るまでサポートしてほしいと・・・
- 低コストのテストベンダーに依頼していた・・・
- 立上がったばかりの組織で基準・ルールも・・・

【対策】テスト実行力 & 品質管理で開発速度向上

- テスト実施の圧倒的な不具合検出力
- 不具合管理の標準化 & 促進
(バグレポートの標準化、Github Issue での不具合管理)
- 対象機種選定による、端末展開検証の最適化
(OS Ver・画面画素数・CPU・メーカーetc)

技術 ≡ 技能

情報技術の分野では、プログラマー(狭義ではコーダー)は技能者とされ、分析・設計を担当するシステムエンジニア、プロダクトマネージャーなどの職種が技術者であるとされる。一方で、データベース、ネットワークにおける管理・運營業務を負う技術者は、大抵の場合それぞれのシステムの設計・開発を兼ねているが、作業自体はプログラマー的である。結果、プログラミングできないという優れたシステムエンジニアという者や、システムが組めないプログラマーという者は原理的に存在し得なく、コンピューター産業において技術者・技能者の差異が明確ではない。

まとめ

多くの組織で改善活動をするなかで、
変えたこと・変えなかったことがありました
それは、以下3つの【心構え】が根底にあります

- ◆ 仕組みの心構え
- ◆ QAとしての心構え
- ◆ 改善の心構え

まとめ ～ 仕組みの心構え ～

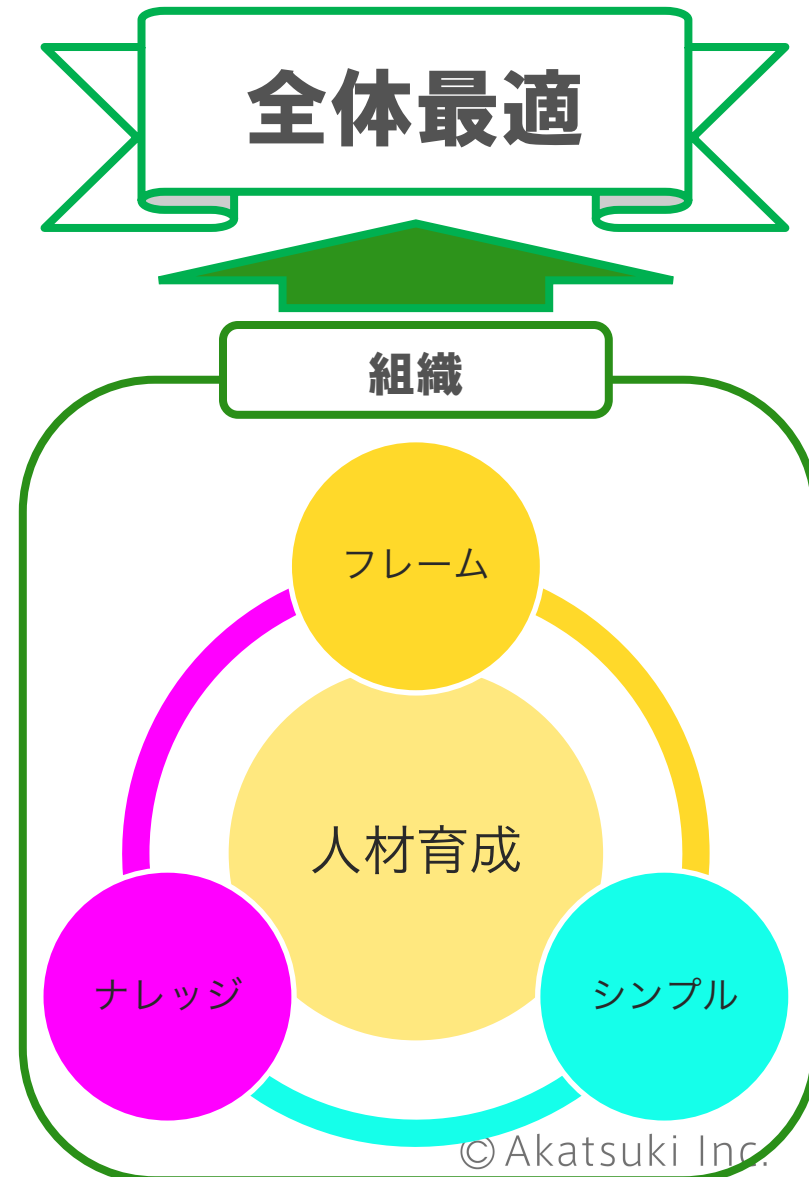
事例紹介の中で、4つのキーワードを使いましたが
ゴールイメージとしては、
【全体最適】を常に意識
しています

フレーム

シンプル

ナレッジ

人材育成



まとめ ～ QAとしての心構え ～

テスト・QAとして活動する際には、常に下記の役割を忘れずに、鍛錬し自身の力が向上すれば、組織力も向上するという気概をもっています

QAとしての心構え

SQAの4つの役割

- ミツバチの役割
- ペースメーカーの役割
- ブレーキの役割
- コンサルタントの役割

まとめ ～ 改善の心構え ～

改善活動において、うまくいかないこともあります。その際には、モチベーションコントロールのためにも、下記のようなスコープに合わせて、目標・価値を考
えてる

改善の心構え

- **組織全体のパフォーマンスを最大化**
- **自組織の底力を向上**
- **自分自身の力量・市場価値の向上**
- **失敗事例も次への財産(糧・価値)**

さらなる根源として、下記の2つがあります。

自分が変われば
世界が変わる！

自分がやらなきゃ
誰がやる！！

SWテスト・QAで
業務を「改善」して
日本の産業を
救おう！！



ご清聴、
ありがとう
ございました

